

粉末金属成形・焼結加工により精密機械部品を製造

納期相談
企画力自信有
コスト相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



令和4年に新築移転した本社工場

主な事業内容

粉末金属成形・焼結加工による精密機械部品製造

主な取引先(納入先)

工業用ベルトメーカー、縫製機械メーカー、金属加工商社など

主な製品

縫製機械部品、半導体製造装置向け部品、産業用ロボット向け部品

業務内容

半導体製造装置やOA機器向け部品を製造

ダイニンテックは、粉末金属成形や焼結加工を専門とする精密機械部品の製造会社。金属の粉末を金型に入れ、プレス圧縮して形を整えた後に焼き固める工法で、粉末冶金と呼ばれる。大阪府内に対応できるのは、同社を含め3社のみという。現在、半導体製造装置やOA機器、産業用ロボット向け部品のほか、ベルト駆動向けプーリーなど高精度が求められる製品を幅広く製造している。

同社は、昭和11年に、粉末冶金による自動車部品の製造を開始。戦後、一時休業を経て、工業用ミシン部品などの製造により業容を拡大した。昭和44年に上野工場（三重県伊賀市）を開設し、令和4年には本社工場を八尾市へと移転し、現在に至る。

強み 金型も自作して完成形に近い製品を生み出す

粉末冶金では、金属の粉末を金型に入れて圧縮、固めることで成形する。それゆえ、複雑形状であっても完成形に近い製品に仕上げることができ、切削や研磨などの後加工も不要となる。さらに、自社内で金型の設計・製作を行うことにより再現性を高め、品質を安定させる

ことが可能という。

軸やシャフトの形状加工、ねじ加工、寸法矯正（サイジング）、カシメ、焼入れ処理などの二次加工に必要な設備も保有する。資材調達から製品出荷までを一貫して請け負える体制を整備することにより、「中間マージンを無くし、低コストで高品質のものづくりを実現している」と大仁洋志社長は胸を張る。

課題解決 工法転換で顧客の課題を解決

金型による量産や、完成品に近い製品を生み出せる粉末冶金の特長を生かした設計方法や工法転換などの提案を行っている。ある顧客に対しては、従来、複数部品に分けて切削加工し、組み立てていたものを、粉末冶金の適用により一つの加工品として製造することを提案。大幅な工程削減や素材調達費の低減を図ることができ、20%近くもの原価低減を達成した。

また、最近の事例では、ある部品へのシャフト圧入工程において、バリや不良が発生する課題があった。これに対し、「見積段階で部品側の穴の段差に面取り形状を提案して、顧客に喜ばれた」と話す大仁社長は、高い提案力を生かして、顧客の課題解決に取り組み続ける。

社長あいさつ

代表取締役
大仁 洋志さん

創業以来、「品質第一」を企業理念に掲げ、製品価値の最大化と納期厳守を通じて、顧客の信頼向上に努めてきました。成形性に優れ、かつ素材のムダが少ない粉末冶金の特長を生かし、省エネや環境保全といった側面から社会に対しても価値を提供できる企業であり続けます。

主な保有設備

- パッチ式浸炭焼入れ炉
ERT-152412-AF
ジェテクトサーモシステム製 1台
- ホーニング機 自社製 4台
- CNCタッピングセンタ TC-R2Bほか
ブラザー工業製 20台
- CNC旋盤 NUCROBO-101ほか
エグロ製ほか 10台
- センタレス研磨機
GHL-B406Nほか
日立精工製 2台

大阪
06ISO 9001
ISO 14001住 所／〒581-0041
八尾市北木の本
1-16-1

T E L／072-991-7881

F A X／072-991-4400

創 業／昭和11年5月

設 立／昭和25年5月

資本金／5,400万円

従業員／52名



成形・焼結後の二次加工も自社内で行う



粉末冶金によるニアネットシェイプ


<https://dainintec.securesite.jp/>